

2023 年度事業報告書

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

一般財団法人社会変革推進財団

目 次

第 1. 法人概要

1. 設立年月日	1
2. 定款に定める目的	1
3. 定款に定める事業内容	1
4. 主たる事務所	1
5. 役員等に関する事項	1
6. 専門委員等に関する事項	2
7. 職員に関する事項	3
8. 許認可に関する事項	3

第 2. 管理業務

1. 理事会	3
2. 評議員会	7
3. アドバイザリー委員会	7
4. 専門委員会	8
5. コンプライアンス委員会	8
6. 事務局	8

第 3. 事業の状況

I. 事業の実施内容及び成果	9
1. 本質的なインパクトを体現する「新しい経済」のシンボリックな事例・実績づくり	9
2. 本質的なインパクトを体現する「新しい経済」の実践知づくり事業	10
3. 新しい経済を志向する多様な実践者が行き来する場づくり	10
II. 収支及び正味財産増減の状況	11
III. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	11

2023年度事業報告書

第1. 法人概要

1. 設立年月日：2018年9月20日

2. 定款に定める目的

この法人は、世界の急速な変化の中で直面する多種多様な社会課題に対して、自律的・持続的な解決と多様な価値創造が起こる包摂的な社会の実現のため、社会的・経済的資源循環の仕組みを構築し、社会における大きな変革（ソーシャルイノベーション）の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

(1)この法人の目的に寄与する組織及び事業の実施に必要な資金提供について、出資・融資・助成又は保証等の新たな資金提供手法の開発及び実践

(2)この法人の目的に寄与する事業及び組織及び事業の成長に必要な経営支援を行うこと。

(3)この法人の目的の促進に関する調査及び研究を行うこと。

(4)この法人の目的の促進に資するための啓発活動及び広報活動を行うこと。

4. 主たる事務所

東京都港区赤坂1丁目11-28 JMFビル 赤坂01 6F

TEL：03-6229-2622

5. 役員（理事・監事）及び評議員に関する事項

(1)役員

役職	氏名	常勤・非常勤	担当職務・現職
理事長*	大野修一	常勤	全体総括・笹川アフリカ財団評議員
専務理事*	青柳光昌	常勤	全体総括・事業統括
常務理事	工藤七子	常勤	事業統括
〃	高石良伸	常勤	管理統括
理事	永田俊一	非常勤	三菱UFJ信託銀行信託博物館長
〃	有馬充美	非常勤	元みずほ銀行執行役員 株式会社西武ホールディングス社外取締役
監事	五十嵐裕美子	非常勤	五十嵐綜合法律事務所 弁護士
〃	角野里奈	非常勤	角野里奈公認会計士事務所 公認会計士

*代表理事

(2) 評議員

氏名	職業
大田弘子	政策研究大学院大学学長、日本生産性本部副会長
尾形武寿	公益財団法人日本財団 理事長
北川正恭	早稲田大学 名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所 顧問
柴田弘之	信金中央金庫理事長
高橋陽子	公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長
樽見弘紀	北海学園大学名誉教授
堀内勉	多摩大学サステナビリティ経営研究所教授・所長、(社)100年企業戦略研究所 所長、(株)ボルテックス 取締役会長

(3) アドバイザリー委員

氏名	職業
磯崎功典	キリンホールディングス代表取締役社長
杉田亮毅	日本経済新聞社参与／日本経済研究センター参与
高木剛	日本労働組合総連合会顧問
田中明彦	独立行政法人国際協力機構（JICA）理事長
丹呉泰健	日本たばこ産業株式会社社友、元財務事務次官
中江有里	女優、作家
二橋正弘	自治総合センター顧問、元内閣官房副長官

6. 専門委員等に関する事項

(1) 投資選定委員

氏名	職業
太田直樹	株式会社 New Stories 代表取締役 株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構 社外取締役 総務省アドバイザー
鈴木榮	一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ代表理事
高槻大輔	一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ代表理事 シーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン(CVC)取締役プリンシパル
野宮博	一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ常務理事 株式会社クロスポイント・アドバイザーズ代表取締役

(2) 専門家アドバイザー（投資選定アドバイザー）

氏名	職業
湯浅エムレ秀和	株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ ディレクター

7. 職員に関する事項

職員数：合計 20 名

常勤 15 名、非常勤 3 名、出向 1 名、派遣 1 名

8. 許認可に関する事項

登記事項	件数
(1) 理事辞任、および評議員重任登記	1 件
(2) 理事就任登記	1 件

第 2. 管理業務

1. 理事会

本年度における理事会は、次の通り第 52 回から第 63 回まで計 12 回開催した。

(ア) 第 52 回理事会

開催日時：2023 年 4 月 20 日（木）午後 1 時 00 分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第 1 号議案 ジャパン・ベンチャー・フィランソロピー基金事業の資金提供の件

第 2 号議案 一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブとの
2023 年度業務委託契約締結の件

第 3 号議案 規程類の改正に関する件

報告事項：

報告事項 1 人事異動の件

報告事項 2 日本財団に提出する 2022 年度完了報告書の件

報告事項 3 新しいフィランソロピー事業の今後の運営について

報告事項 4 休眠預金事業 2023 年度資金分配団体公募への応募検討について

報告事項 5 随意契約の件

(イ) 第 53 回理事会

開催日時：2023 年 5 月 22 日（月）午後 1 時 00 分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第 1 号議案 2022 年度事業報告及び決算に関する件

第 2 号議案 評議員会の招集の決定に関する件

第 3 号議案 重要な使用人の人事に関する件

第 4 号議案 投資選定委員委嘱の件

第 5 号議案 休眠預金等活用法に基づく 2023 年度資金分配団体の公募の申請の件

第 6 号議案 ウェルネスファンドの GP/LLP への出資の件

- 第7号議案 LPとしてのウェルネスファンドへの出資の件
- 第8号議案ウェルネスファンドのLLP契約の変更の件
- 第9号議案ウェルネスファンドの組合契約（新規）の件
- 第10号議案 ジャパン・ベンチャー・フィランソロピー基金事業のマイルストーン
出資実行の件

報告事項：

- 報告事項1 理事の辞任について
- 報告事項2 投資選定委員の退任について
- 報告事項3 はたらくファンドの新規投資先について
- 報告事項4 随意契約の件

(ウ) 第54回理事会

開催日時：2023年6月29日（木）午前11時00分

開催場所：JMFビル赤坂016Fおよびオンライン会議システム

審議事項：

- 第1号議案 常勤役員の役員報酬の変更及び報酬決定の理事長一任の件
- 第2号議案 各種契約締結に関する件

報告事項

- 報告事項1 人事異動について
- 報告事項2 専門家アドバイザー就任について
- 報告事項3 随意契約の件

(エ) 第55回理事会

開催日時：2023年8月30日（水）午後1時00分

開催場所：JMFビル赤坂016Fおよびオンライン会議システム

審議事項：

- 第1号議案 ジャパン・ベンチャー・フィランソロピー基金事業の出資の件

報告事項：

- 報告事項1 ウェルネスファンドに関するSIIFIC有限責任事業組合契約（LLP契約）
の変更について
- 報告事項2 四半期収支報告について
- 報告事項3 随意契約の件
- 報告事項4 合宿実施の報告について
- 報告事項5 人事異動の件

(オ) 第56回理事会

開催日時：2023年9月28日（木）午後12時30分

開催場所：JMFビル赤坂016Fおよびオンライン会議システム

審議事項

第1号議案 各種契約締結の件

第2号議案 地域活性化・機会格差チーム新規事業の公募について

報告事項

報告事項1 ウェルネスファンドの第一号案件投資決定について

報告事項2 人事異動の件

報告事項3 随意契約の件

(カ) 第57回理事会

開催日時：2023年10月25日（木）午後1時00分

開催場所：JMFビル赤坂01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 2024年度日本財団への助成金申請に関する件

第2号議案 各種契約締結の件

報告事項：

報告事項1 日本財団役員会議について

報告事項2 2023年度上半期振り返りについて

報告事項3 新規事業公募の進捗状況ご報告について

報告事項4 四半期収支報告について

報告事項5 随意契約の件

(キ) 第58回理事会

開催日時：2023年11月27日（月）午後1時00分

開催場所：JMFビル赤坂01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 各種契約締結の件

報告事項：

報告事項1 ウェルネスファンドに係る体制変更について

報告事項2 新規事業公募の進捗状況ご報告について

報告事項3 インパクトコンソーシアム(金融庁)の進捗状況について

報告事項4 随意契約の件

(ク) 第59回理事会（決議の省略）

理事会の報告・決議があったものとみなされた事項の内容：

第1号議案 各種契約について

理事会の報告・決議があったものとみなされた事項を提案した理事：工藤（小俣）七子

理事会の報告・決議があったものとみなされた日：2023年11月30日

(ケ) 第60回理事会

開催日時：2023年12月21日（木）午後1時00分

開催場所：JMFビル赤坂01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案「SIIFIC 有限責任事業組合」の職務執行者選任の件、および「SIIFIC 有限責任事業組合」が投資委員を選任することへの承認の件

第2号議案 Systems Change Collective 事業助成先一次選定の件

報告事項：

報告事項1 はたらくファンドの新規投資先について

報告事項2 随意契約の件

(コ) 第61回理事会

開催日時：2024年1月25日（木）午後1時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 Systems Change Collective 事業助成先二次選定の件

報告事項：

報告事項1 人事異動について

報告事項2 アドバイザリー委員会開催について

報告事項3 四半期収支報告について

報告事項4 随意契約の件

(サ) 第62回理事会

開催日時：2024年2月22日（木）午後1時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 ウェルネスファンドへの中小機構の出資に伴う SIIFIC の資本構成の変更の件

報告事項：

報告事項1 Oxford 大学のケーススタディについて

報告事項2 随意契約の件

(シ) 第63回理事会

開催日時：2024年3月18日（月）午後1時00分

開催場所：JMF ビル赤坂 01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

第1号議案 2024年度事業計画及び収支予算に関する件

第2号議案 各種契約締結の件

第3号議案 エグゼクティブアドバイザー選任の件

第4号議案 コンプライアンス委員選任の件

第5号議案 投資選定委員委嘱の件

第6号議案 規程類の制定及び改定について

第7号議案 ウェルネスファンド LP 契約の変更の件
第8号議案 SIIFIC LLP 資本構成の変更の件
第9号議案 Systems Change Collective 事業助成先三次選定の件
第10号議案 pfc Social Impact Advisors へのケーススタディ作成に係る委託について
報告事項：
報告事項1 随意契約の件

2. 評議員会

本年度における評議員会は、次の通り計2回開催した。

(ア) 第10回評議員会

開催日時：2023年6月1日(木)午前10時00分

開催場所：JMFビル赤坂01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

審議事項1 2022年度決算に関する件

審議事項2 評議員の選任に関する件

報告事項：

報告事項1 理事の辞任について

報告事項2 事業状況について

(イ) 第11回評議員会

開催日時：2023年12月6日(水)午後1時00分

開催場所：JMFビル赤坂01 6F およびオンライン会議システム

審議事項：

審議事項1 理事の選任に関する件

報告事項：

報告事項1 2023年度事業状況について

3. アドバイザリー委員会

本年度におけるアドバイザリー委員会は、次の通り2回開催した。

(ア) アドバイザリー委員会

開催日時：2023年6月29日(木)午後1時00分～午後2時00分

(イ) アドバイザリー委員会

開催日時：2024年2月22日(木)午後3時00分～午後5時00分

4. 専門委員会

本年度における専門委員会は、次の通り3回開催した。

(ア) 投資選定委員会

開催日時：2023年5月11日(木)10時00分～10時40分

(イ) 投資選定委員会

開催日時：2023年5月19日(金)13時00分～14時00分

(ウ) 投資選定委員会

開催日時：2023年8月28日(月)16時00分～17時00分

5. コンプライアンス委員会

本年度におけるコンプライアンス委員会は、次の通り計4回開催した。

(ア) コンプライアンス委員会

開催日時：2023年6月16日(金)

(イ) コンプライアンス委員会

開催日時：2023年9月4日(月)

(ウ) コンプライアンス委員会

開催日時：2023年12月15日(金)

(エ) コンプライアンス委員会

開催日時：2024年3月8日(金)

6. 事務局

2024年3月31日現在における事務局の機構は、コンプライアンス室、総務部、事業部、知識創造部の3部1室で構成されている。

第3. 事業の状況

当財団は、日本が少子化・高齢化などにより、医療・介護システムの疲弊、子供の貧困、地方の経済衰退とコミュニティの消失等の構造的課題に直面する中、「社会課題解決と多様な価値創造が自律的・持続的に起こる社会」を目指し、「自助・公助・共助の枠組みを超えて、社会的・経済的資源循環のエコシステムをつくる」のミッション達成に向けて、以下の3つの事業の柱に基づき活動を行った。

1. 本質的なインパクトを体現する「新しい経済」(※)のシンボリックな事例・実績づくり
2. 本質的なインパクトを体現する「新しい経済」の実践知づくり
3. 新しい経済を志向する多様な実践者が行き来する場づくり

※人々の幸福と社会・環境の持続可能性をその目的の根幹に置き、経済合理性と利潤最大化のみに最適化しない経済活動。インパクト投資を始めとするインパクト志向のビジネス、投融資などを指す。

I. 事業の実施内容及び成果

1. 本質的なインパクトを体現する「新しい経済」のシンボリックな事例・実績づくり

当財団では2017年の組織設立以降、インパクト投資やSIB、社会起業家の経営支援、インパクト測定・マネジメント等の各分野で自ら実践しモデル開発をすると同時に国内での普及啓発を主導してきた。それぞれの分野で当財団として一定のモデル開発や海外の先進事例の獲得が出来、金融機関等を中心に徐々に他の実践者が増え市場規模が拡大しつつある。一方で、当財団自身も含めて、これらの実践者がインパクト投資や社会起業家支援を通じて実際に日本における重要な社会課題の解決を大きく前進させるような事例・実績を出すには至っていない。今後は当財団が開発してきた新たな手法が本質的な社会課題解決に繋がるような具体的な成果を創出していく必要がある。

その為の戦略として、2022年度より注力する社会課題領域を複数設定し、その領域における社会起業家や社会的事業への出資・経営支援等の検討を開始した。また、支援先に対する経営支援とインパクト測定・マネジメントの実施に留まらず、当財団自身が当該課題領域に関する理解を深め、当該課題領域における専門家、公的機関、当事者等の様々なステークホルダーとの協働関係を構築し、課題解決を進める先行事例となることを目指した。

(1) 実施内容と成果

(ア) ヘルスケア、地域活性化、機会格差分野における当財団としての活動計画の具体化
「ヘルスケア」「機会格差」「地域活性化」の3つの課題分野で目指すビジョンの特定、ビジョン達成に向けた変化の仮説の構築、必要な活動施策を整理した「ビジョンペーパー」を作成し、2023年7月に公開した。

(イ) 社会起業家、社会的事業等への資金提供、及び非財務支援の企画・実施

2023年6月にSIIFIC ウェルネスファンドを設立、2社のインパクトスタートアップに投資を実行した。2023年10月にシステムチェンジに取り組む事業者の公募を実施、今後資金提供と非財務支援を具体化する予定。

(ウ) 既存支援先への経営伴走支援、インパクト評価・マネジメント実施支援

投資・支援先等、計 12 プロジェクトのモニタリング・経営伴走支援を実施した。

・岡山市のソーシャルインパクトボンド事業は 5 年間の事業期間を終了。成果指標の目標達成度はプログラム参加者数の達成率 75%、生活習慣改善率の達成率 100%超、プログラム参加継続者数の達成率 63%、健康状態改善率の達成率 100%超となり、SIIF の出資に対して 13%のリターンを得た。

・休眠預金事業の 2021 年度事業が順調に進捗し、2022 年度に設立された奈良県の「やまと社会インパクト投資事業有限責任組合」は 2023 年度に総額 10 億円の地域課題解決型の社会インパクトファンドとなり「やまと社会インパクトファンド インパクトレポート 2023」を 2024 年 1 月に公開した。また 2023 年 7 月に沖縄県で初の試みとなる地域課題解決型のインパクトファンド「カリーインパクト&イノベーション 1 号投資事業有限責任組合」が設立され運用開始された。

2. 本質的なインパクトを体現する「新しい経済」の実践知づくり事業

当財団のミッションの達成に向けては、自ら先行事例・実績を創り出すだけでなく、その取り組みが他の組織や機関にも影響を与え、業界や社会全体に波及していくことが重要である。そのために、実践知づくり事業では、上記 1 の事例・実績づくり事業の具体的な実践例と成果を可視化・明確化するほか、事業から得た学びを体系化・仕組化して関係者に伝播していく仕組みの構築を進めた。

(1) 実施内容と成果

(ア) 「新しい経済」への移行（システムチェンジ）に関する国内外の最先端の知見の収集、発信
2022 年度に新設した「インパクトエコノミーラボ」で海外におけるシステムチェンジの実践者コミュニティに参画する等を通じて研究を進めており、2024 年 5 月にシステムチェンジに関する定義、事例、手法、などを纏めたブログ特集を開始予定。政府による「新しい資本主義」政策に基づいて、インパクト投資の推進、日本版 B コーポレーションの検討、インパクトスタートアップ支援、公益法人改革、休眠預金の投融資解禁、等多様な文脈で政府各所とのやり取りを継続中。金融庁が主導するインパクトコンソーシアムが発足し、全体運営や分科会企画で貢献。

(イ) 社会的インパクトを重視した企業の IPO モデル開発

GSG 国内諮問委員会主催でインパクト IPO の仕組化に向けて投資家やインパクトスタートアップを巻き込んだワーキンググループを開始。2024 年 5 月にガイドラインを発表予定。

3. 新しい経済を志向する多様な実践者が行き来する場づくり

社会的・経済的資源循環のエコシステムの発展のためには新しい経済に挑戦する様々な主体

が繋がり、それぞれの学びを共有しながら更に実践を深め、広げていくことが不可欠である。当財団は新しい経済を志向する多様な実践者が集い、繋がり、学び合う「学習するコミュニティ」を作り、豊かなエコシステムの形成に貢献する。また、当財団自身も多様な実践者が行き交う場であり続ける。そのためにも、当財団の活動や開発した知見をより広く世の中に示す広報活動を強化し、社会課題解決の事例が広く実践されることを目指す。

(1) 実施内容と成果

(ア) Web サイトや note による情報発信

当財団 web サイトや note ブログで積極的に情報発信を行った。2019 年度に開設した当財団公式ブログは、2023 年度は 44 本（3 月末時点）の発信を続けており、65781 ビューと過去最多の閲覧数となった。新規開設したブログ連載「インパクトエコノミーの扉」では、14,000 ビューを超える閲覧数を出す記事も発信。

(イ) メディアと連携した連載記事

従来のインパクト投資の特徴、インパクト投資残高といった概要的な記事だけではなく、その向かう先や課題感などを深掘りをするビジネス系媒体（日経ビジネス、東洋経済等）での露出が増えた。当財団に関するメディア掲載件数は、154 件（前年同期：127 件）と過去最多になった。

(ウ) GSG 国内諮問委員会、金融庁共催勉強会企画の運営

GSG 国内諮問委員会の定期会合を 2 回実施したほか、2025 年以降の自立的な運営に向けたタスクフォースを設置し、今後の戦略や体制の議論を深めている。

(エ) 「インパクト志向金融宣言」の活動支援

2021 年に設立したインパクト志向金融宣言は署名機関が 75 機関となり（2024 年 3 月 31 日現在）、5 つの分科会と企画チームが各テーマごとに活発な活動を行っている。2025 年以降の自走化に向けた準備を着実に進めている。

II. 収支及び正味財産増減の状況

2023 年度財務諸表参照

III. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当なし

以上

【成果物・参考資料】

既存案件一覧

	出資・助成先名	事業内容	支援期間
1	ヘルスケアニューフロンティアファンド	神奈川県が組成したヘルスケア分野におけるベンチャー投資ファンド	2018年～2028年
2	プラスソーシャルインベストメント	地域におけるインパクト投資の仲介機関。株主としてのモニタリングと地方創生分野での連携を模索	2018年～
3	アドレス	二拠点居住のインフラを作り地方創生に貢献	2019年～
4	シングルマザー起業支援ファンド	シングルマザー起業家3名に資金提供と経営伴走支援を行うファンド。金融弱者への支援モデル作り	2019年～2029年
5	成果連動型民間委託(PFS) / ソーシャルインパクトボンド(SIB)	岡山市、豊中市で実施中の2件のSIB案件のフォローアップ、法務省のSIB案件のアドバイザー	岡山市：2019年～2024年、 法務省：2021年～2024年
6	ヘラルボニー	日本財団ソーシャルチェンジメーカーズ卒業生。障害者の自立に取り組む。	2020年～
7	エーテンラボ	日本財団ソーシャルチェンジメーカーズ卒業生。生活習慣改善アプリの開発・販売。	2020年～
8	ココホレジャパン	小規模零細企業の事業承継を支援するプラットフォーム運営	2021年～
9	Zebras and Company	株式上場を前提としないベンチャー企業向けの資金提供と経営伴走支援	2021年～
10	休眠預金事業 コレクティブインパクト	複数の関係者の協働による社会課題解決を目指す	2021年～2024年
11	休眠預金事業 地域インパクトファンド組成支援	地域金融機関が当該地域でインパクト投資ファンドを設立する際のサポートを実施	2022年～2025年

12	日本ベンチャーフィランソロピー基金	社会起業家に対する資金提供及び経営 伴走支援	2022年～
----	-------------------	---------------------------	--------

成果物

1. ビジョンペーパーの制作過程と記録 (VP ログ) (日・英)

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/07/siif_visionpaper_log.pdf

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/10/SIIF-Vision-Paper_ENG-1.pdf

2. ビジョンペーパー

「機会格差」

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/07/SIIF_VP_Opportunity-gap.pdf

「地域活性化」

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/07/SIIF_VP_Regional-activation.pdf

「ヘルスケア」

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/07/SIIF_VP_Healthcare.pdf

3. SIIF Impact Review 2022 (日・英)

<https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/08/2022impact-review-update.pdf>

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/10/impactreport_ENGLISH.pdf

4. インパクト投資に関する消費者意識調査 (定性調査) (日・英)

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2024/02/2023_impact_chousahoukoku.pdf

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/02/English-ConsumerSurvey_2022.pdf

5. ヘルスケアニューフロンティアファンドインパクトレポート Vol.5

「2022 インパクトレポート」

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/06/SIIF_HNFF2022.pdf

6. 休眠預金事業インパクトレポート 2023

「2020年度 コレクティブインパクトによる地域課題解決事業 最終評価」

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/SIIF_Dormant-Deposits-Utilization-Project-Impact-Report-2023-final.pdf

7. 日本におけるインパクト投資の現状と課題 -2022年度調査-

https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2023/05/ImpactInvestment_Report2022.pdf

8. インパクト企業の資本市場における情報開示及び対話のためのガイダンス (草案)

https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/Impact-IPO_word_JPN.pdf

9. デットにおけるインパクトファイナンスの考え方とインパクト測定・マネジメントガイドンス
https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/GSG_Guidebook_IMM.pdf

10. 金融庁・GSG 国内諮問委員会共催「インパクト投資に関する勉強会 フェーズ 2」総括ペーパー
<https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/kinyucyo/phase2/6/soukatsu-paper.pdf>

11. インパクト志向金融宣言プログレスレポート 2023
https://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2024/01/ProgressReport2023_final.pdf